

区分・種別	県指定有形文化財		
名称	おおがたきだい 大型器台／北井門遺跡出土 2箇		
所在地	西予市宇和町（愛媛県歴史文化博物館）		
所有者	愛媛県	管理団体	
指定年月日	平成29年3月28日		
解説	<p>大型器台は、西部瀬戸内の弥生時代後期から終末期において、在来の器台形土器の胴部を大きく伸長させ、口縁部や裾部を拡大・装飾して、儀礼用具へと変化を遂げた土器である。</p> <p>北井門遺跡2次調査地(松山市北井門)で出土した2箇は、形態・意匠・寸法とも近似する。細い胴部に円孔14段と最上段に円形文を施す。外方に浅く開いた口縁部の端部は上下に拡張され、端面を櫛描き波状文とS字形の浮文で飾る。寸法は、器高71.4～71.7cm、口径41.4～44.4cmである。本例は、弥生時代後期後葉に盛行した大型器台の典型のひとつである。</p>		



器高:71.4cm 口径:44.4cm



器高:71.7cm 口径:41.4cm